



新年のスタートにあたり

校長 二神 博

令和8年がスタートしました。昨年1月の通信で「令和7年は昭和100年にあたります。」と紹介しましたが、あれから1年が経つのかと、少々戸惑っています。昨年も、世の中は大規模な地震や火災、野生動物の出没と人的被害といった災害に度々見舞われ、一年を穏やかに過ごすことが、年々難しくなっているように感じます。

毎年、京都の清水寺で発表される、その年の世相を1字で表す漢字も、昨年は「熊」でした。「熊」が選ばれたのは初めてだそうです。自然環境や社会の変化の中で、人と自然との関わりや、命を守ることの大切さについて、改めて考えさせられる一年であったように思います。学校においても、子どもたち一人一人の安全・安心を守ることを最優先にしながら、困難に直面しても粘り強く考え、行動する力を育していくことの重要性を強く感じました。

今年の干支は「丙午(ひのえうま)」。馬は前向きに力強く進む姿から、「成長」や「挑戦」を象徴すると言われています。本校の子どもたちが、それぞれの目標に向かって一步一步前進し、力いっぱい自分を伸ばしていく年となるよう、教職員一同、心を一つにして教育活動に取り組んでまいります。本年も、保護者・地域の皆様の温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

新しいツールとしての「生成AI」の活用について

研修主任 松崎 佳珠

近年、技術の進化は目覚ましく、「生成AI」という新しいツールが社会で注目を集めています。生成AIは、文章や画像、アイデアなどを瞬時に生成できる便利なツールですが、あくまで「道具の一つ」であり、子どもたち自身が「考える力」や「判断する力」を育むことが最も重要であるという基本方針の基で活用を進めます。

上述した文章は、生成AIが考えた文章の一部です。「小学校の学校通信で、生成AIの授業への生かし方についてお知らせする内容をつくってください。」とお願いしました。生成AIは文章を作成すること以外にも、「ミニテストをつくる」「間違えた問題を分かりやすく解説する」「自分がつくった感想文の添削をする」等、正しく使えば、子どもたちの学習をサポートする強い味方になります。学習で活用する際に大切なことは、生成AIは完璧ではないことを念頭に、「結果ではなく、過程で活用すること」です。「この問題の答えを教えて」「読書感想文を書いて」では、子どもたちの学びにはつながりません。昨年度までの3年間、本校では、国語科の学習を中心に、文章から読み取ったことを基に、自分の考えを形成する力を育成するための取組を研究してきました。今年度は、昨年度までの研究を継続しつつ、国語科に限らず、どの教科でも自分の考えを形成し、表現する力を育てていくための取組を行っています。生成AIを、「自分の考えを形成する」過程で、適切に活用していければよいなと思います。

3学期の目標



サッカーをはじめました。コーチのはなしをしっかりきいていなかったので、しあいのときにうまくいかないことがありました。3がっつきからは、「人のはなしをよく聞く」ことをがんばって、もっとじょうずになりたいです。 1年	ぼくが3学きにがんばりたいことは、校内マラソン大会です。松前町のマラソン大会では、2年生で3いだったので、今度は1いになりたいからです。家でもランニングをがんばっています。 2年	ぼくが3学きにがんばりたいことは、漢字練習とマラソン大会です。漢字は3学きになるともっとむずかしくなるので、集中して字を書きたいです。マラソン大会は、8位以内に入れるようにがんばりたいです。 3年
3学期にがんばりたいことは、マラソン大会です。3年生の時のマラソン大会では8位だったので、今回は5位以内に入りたいです。前2人に追いぬかれてしまったので、次は追いぬけるようにがんばりたいです。 4年	3学期のめあては勉強です。特に算数と国語です。算数は「速さ」の単元、国語は漢字をがんばりたいです。テストの前には、たくさん復習をして百点をとれるようにがんばりたいです。 5年	中学生に向けて、漢字の学習や算数の計算など、苦手なことを一つずつできるように復習していきます。また、残り少なくなってきた小学校生活を友達や先生と大切に過ごしていきたいです。 6年